

神奈川県考古資料集成

2

縄文式土器

CORPUS OF RELICS FOUND IN KANAGAWA PREFECTURE

2

JŌMON-TYPE POTTERY

神奈川県立博物館

KANAGAWA PREFECTURAL MUSEUM

Naka-ku Yokohama Japan

1970

訂 正

● 図版・資料番号

3・2

誤

鶴が島台

正

鶴ガ島台

● ページ・行

3・4

(図版5—1・2)

(図版5—4・5)

3・19

(図版6—1—3・5、6—3・6)

(図版6—1—3・5・6)

3・25

図版7—6

図版7—3

3・28

I4—5

14—5

3・30

(図版5—2・3)

(図版5—3)

3・37

図版15—9

図版15—11

考古資料集成2の刊行について

当館では、考古部門の展示の基礎となる地域研究の推進と県内考古資料の実態を把握する目的のもとに、昭和42年度から5カ年計画で各種資料の記録、集成を行ない、昭和43年度に考古資料集成1——弥生式土器——を刊行いたしました。

本年度は、ひきつぎ考古資料集成2——縄文式土器——をここに刊行いたします。

不備な点がありますが、この図録が考古学研究ならびに埋蔵文化財保護の面で、いささかでも役立つならば幸いです。

刊行にあたり、ご協力を賜わった方々に厚くお礼申し上げます。

昭和44年3月

神奈川県立博物館

館長 齋藤 太次郎

目 次

| | | | | |
|-----------------------|------------------------|----------------------|-------|-------|
| 図版 1 | 鉢形土器 | 早期 | | P. 6 |
| 図版 2 | 鉢形土器 | 早期 | | P. 6 |
| 図版 3 | 鉢形土器 | 早期 | | P. 6 |
| 図版 4 | 鉢形土器 | 早期 | | P. 7 |
| 図版 5 | 鉢形土器 | 前期 | | P. 7 |
| 図版 6 | 鉢形土器 釣手形土器 | 中期 | | P. 7 |
| 図版 7 | 鉢形土器 | 中期 | | P. 7 |
| 図版 8 | 鉢形土器 | 中期 | | P. 8 |
| 図版 9 | 鉢形土器 | 後期 | | P. 8 |
| 図版 10 | 鉢形土器 | 後期 | | P. 8 |
| 図版 11 | 鉢形土器 | 後期・晩期 | | P. 9 |
| 図版 12 | 鉢形土器 浅鉢形土器 | 後期 中期 | | P. 9 |
| 図版 13 | 浅鉢形土器 | 後期 | | P. 9 |
| 図版 14 | 鉢形土器 浅鉢形土器 高鉢形土器 | 晩期 後期・晩期 後期・晩期 | | P. 10 |
| 図版 15 | 注登蓋 形土器 | 後期・晩期 | | P. 10 |
| 神奈川県下の縄文式土器(解説) | | | | P. 2 |
| 編年表 | | | | P. 5 |
| 採録資料関係文献 | | | | P. 12 |
| 主要関連文献 | | | | P. 13 |

凡 例

1. 図版は原則として器形別に編成し、資料の配列はできるだけ年代順にした。
2. 縮尺は器形と文様の細部を表わすため、4分の1とした。
3. 文献は文献番号で処理し、出土地名表の末尾に一括した。編成は年代順である。
なお、参考として、県下所在の標準遺跡に関する主要関連文献を掲載した。
4. 所有者、保管者名は記録当時のものを記載した。
5. 一括出土(同層位出土資料を含む)した資料は、最初の資料の備考欄に共伴した資料の図版番号、資料番号を記載し、以下の例には * 印を付けて最初の資料の番号を記載した。
6. 個々の資料についての解説は省略した。
7. 採録した土器は県下の縄文文化を理解するうえに重要な資料および未紹介の資料が主になっている。資料数、縮尺、編集その他の事情で、やむを得ず掲載できなかった資料が多いが、それらについては将来補足する予定である。

神奈川県下の縄文式土器

神 沢 勇 一

神奈川県下においては、縄文式土器の様相が東半部と西半部とはかなり異なっている。すなわち相模川付近をおおよその境として、東半部の土器は南関東地方一般の場合とほぼ同様な特徴と変遷を示しているのに対し、西半部では東海地方的な要素がつよく、むしろ東海地方的な土器が主体的に存在すると言ってもよい状態である。弥生式土器にみられる相違と同じく、それが2個の文化圏の存在を反映するものである可能性がつよい。いまのところ資料が不十分なため具体的に説明しがたいのでここでは今後の問題として一応指摘するに止め、とりあえず東半部——東京湾沿岸地域——の編年（P. 5参照）により、各時期の概要を説明することにした。なお、編年表中に太字で表示したのは県下に標式遺跡が存在する型式である。

早 期

大丸式土器から茅山上層式土器までの13型式があるが、器形と文様の基本的特徴から、捻糸文土器群、無文・沈線文土器群、条痕文土器群の3群に区分できる。捻糸文土器群<大丸式土器（図版1-1）、夏島式土器（図版1-2・3・4）、稻荷台式土器（図版1-5、2-1）、大浦山式土器（図版2-7）>は縄文、捻糸文を付けた尖底土器の一群である。時期が降るに従って文様が簡略化され、器体も尖り気味になる。稻荷台式土器から器形が分化するきざしがみえるが、顕著ではない。なお、当初の大丸式土器は、本県下では井草式土器を伴出しており、両者は分布を異にする存在とみられる。無文・沈線文土器群<平坂式土器、三戸式土器、田戸下層式土器（図版2-9）、田戸上層式土器>では、器形の分化が認められ、ごく小型の土器（図版2-2~6）が現われる。一方文様も沈線文土器群では、沈線文のほか刺突文、貝殻文、陸線文など新しい要素を加えて多彩になる。またこの段階では押型文土器の伴出が知られている。つづく、条痕文土器群<子母口式土器、野島式土器（図版3-1）、鵜ガ島台式土器（図版3-2）、茅山下層式土器、茅山上層式土器（図版4）>は貝殻条痕文が盛行し、胎土に繊維が混入されて器体が大型化するほか、後半では平底が現われるなど著しい特徴をもつ一群である。このうち、茅山上層式土器には粘土土器あるいはその影響を受けた土器（図版3-3、4-2）が伴い、また横浜・紅取遺跡では入海Ⅱ式土器（図版2-4）が主体的に存在したことなどから、伊豆以西の土器との関係が問題となっている。

泉西半部——相模湾北西部沿岸地域——では、早期の土器の発見例はきわめて少なく、擦痕のある無文土器や楕円押型文土器が散見されるにすぎず、後者が伊豆半島付近の土器と類似している以外は明らかでない。

前 期

この時期の資料は、東京湾沿岸地域でも鶴見川流域では比較的豊富であるが、三浦半島その他においては少ない。前期の土器は、前半の諸型式<花袋下層式土器（図版5-2・3）、関山式土器、黒浜式土器、水子式土器（図版5-1・2）>では、胎土に繊維を混入しており、早期末の土器からの伝統がみられるが、文様では縄文が再び盛行し、平底が一般化するほか、上げ底が現われる。縄文は

羽状縄文が日立ち、斜行縄文、竹管文、貝殻文等を単独または組合わせて構成している。器形では波状口縁が多くなる。なお、花積下層式土器には中部地方の木島式土器が少量伴出するが、早期末における粕畑式土器や入海Ⅱ式土器の伴出と関連があるろう。

後半の土器<諸磯式a土器(図版5-1・2)、諸磯b式土器(図版5-6)、諸磯c式土器、十三菩提式土器>の資料は多いのであるが、本集成には、都合で極めかしか図示できなかった。諸磯a式土器以後は胎土へ繊維を混入することは行なわれない。器形は鉢形以外に、浅鉢形や壺形がみられ、文様では竹管文が盛行し、十三菩提式土器では細隆線の上に半截竹管を押し引きした結節隆線文、三角沈刻文が特徴的である。鉢形土器の口縁には、しばしば獸面把手が付く。

泉西半部では、酒匂川流域に幾つか遺跡が知られている。完形土器の例はないが、伊豆半島付近に分布する上ノ坊土器に類似するものがあり、また東京湾沿岸地域の諸磯式土器の一群に近似した土器も認められるけれども、細部においては、かなり相違するところがある。

中期

五領ガ台式土器から加曾利EⅢ式土器までの諸型式の場合も、泉東半部と西半部とは相違があるが、場所によっても、そのあり方に差が多少みられる。たとえば、中期初頭の五領ガ台式土器は泉東半部には少なく、むしろ泉西半部に分布するらしい。勝坂式土器は東京湾沿岸付近では阿玉台式土器を伴出するが、内陸部では阿玉台式土器は伴出せず、全体として、中部高地方面の土器との関係がつかいと言えらる。

中期においては、器体が一般に大型化し、器壁は厚い。文様は、五領ガ台式土器には三角沈刻文その他に十三菩提式土器からの継統がみられるが、勝坂式土器(図版6-1~3・5、6-3・6)では隆線文が著しく発達して複雑な構成を示し、前期的な要素を止めない。隆線文による装飾は、加曾利EⅠ式(図版7-4・5)、加曾利EⅡ式(図版8-1~3、15-10)、加曾利EⅢ式と移行する間に次第に簡素化してくる。中期においては、鉢形、小型鉢形(図版8-4)、筒形、浅鉢形(図版12-1~3)、釣手形等の器形があるが、器形の分化はさほど著しくない。鉢形土器のうち、口縁に人面把手や獸面(蛇形)把手を付け、特殊な用途を考えさせるもの(図版6-4)もしばしばある。なお、図版7-6、図版8-3は他地域の系統をひく土器の例として挙げた。前者は中部高地、後者は東北地方(大木Ⅱ式土器)と関係を有するものであろう。

後期

泉東半部では、後期の資料はかなり豊富である。時期的には称名寺式土器(図版9-1~4、12-5)から加曾利BⅢ式土器までの諸型式の資料(図版9-5、10、11-1~4、12-6~7、14-5・6、15-1~9・11~14)が多い。また三浦半島においては、安行Ⅰ式土器、安行Ⅱ式土器はほとんど発見されていない。

後期の土器は器形、文様とも繊細な感をもち、器壁は薄い。鉢形、浅鉢形、壺形、注口形、高坏形等の器形があり、とくに鉢形土器では精製土器と粗製土器が分離し、器形の分化が明瞭になる。同一型式内の同種の土器でも、大きさや、各部の形状の変化が少なくない。文様は磨清縄文を中心に構成されているが、おもに精製土器の場合であって、粗製土器(図版10-6・8・9等)には粗い寛幅き沈線や縄文を加える程度にすぎない。なお、精製土器には化粧粘土の使用がみられる。また、図版15-5に示した四脚付きの注口土器、図版15-9の四耳をもつ蓋付壺形土器、図版14-5・6の高坏

形土器のような特殊な器形をとる例が現われる。

県西半部、とくに酒匂川流域および周辺では、静岡県・天王山遺跡出土土器の古い部分に類似した土器に、少量の南関東地方的な土器が伴っている。知られている資料の大部分が破片ではあるが、個体数においては圧倒的多数を占める。図版10-3に示した小型深鉢土器は、適当な例とは言えないが一応、その資料としてとりあげたものである。

晩 期

晩期の土器については全体に資料が少ない。とくに県東半部では、杉田式土器（図版14-1・2）以降のものはほとんどと言ってよいほど知られていない。器形の種類は後期と同様であるが、精製土器と粗製土器の別は、よりきわだっており、精製土器では東北地方の亀ガ岡式土器（大洞b式～A'式土器）の影響を受けたものや、移入品と思われる例が知られる。

県西半部の場合も、資料にとぼしい点では同様であるが、東海地方的な土器——静岡県・天王山遺跡出土土器や愛知県・吉胡貝塚出土土器——に相応するもの（図版11-5、14-3）がみられ、これに亀ガ岡式の系統をひく土器（図版14-4・7）が伴っている。資料的には必ずしも十分ではないが、東京湾沿岸地域（県東半部）と相模湾沿岸地域（県西半部）の土器に基本的な差があることはほぼ確実であろう。次の弥生式土器が、大体これらの地域に、別個の文化圏をもって存在することとの関連において、両地域の縄文式土器の相違は特に重要な意味をもつと言えよう。

出土地名表

| 図版番号 | 出土地名 | 保管者・所有者 | 文献番号 | 備考 |
|------|---------------------------|----------|------|----------------------------------|
| 1 | 横浜市 南区 大丸 | 明治大学 | 4 | 捺糸文。口縁上面に施文がある。 |
| | 横浜賀市 夏島町 夏島(夏島貝塚) | " | 6 | * 第1貝層出土。PL1-2・3と同層位。捺糸文。補修孔3個。 |
| | " | " | 6・17 | * PL1-2参照。繻文。 |
| | " | " | 6・17 | * PL1-2参照。補修孔4個。 |
| | 横浜市 南区 大丸 | " | 4 | 捺糸文。 |
| 2 | 横浜賀市 夏島町 夏島(夏島貝塚) | 明治大学 | 6 | 捺糸文。 |
| | 横浜市 港南区 上大岡 十王堂免 | 神奈川県立博物館 | | |
| | " | " | | |
| | 横浜市 南区 大丸 | 明治大学 | 4 | |
| | " | " | 4 | |
| | 横浜市 神奈川区 三ツ沢東町 (三ツ沢貝塚) | 神奈川県立博物館 | | |
| | 三浦市 南下浦町 松輪 大船山 | " | 8 | 捺糸文。(図上復原) |
| | 横浜賀市 夏島町 夏島(夏島貝塚) | 明治大学 | 6 | 器面に捺痕がある。 |
| | 横浜賀市 公野町 田戸 | 神奈川県立博物館 | 1 | 列点文は半莖竹管で施文。 |
| 3 | 横浜市 金沢区 六ツ浦町 野島 (野島貝塚) | 明治大学 | 17 | |
| | 三浦市 初声町 鍋ヶ島台 | 横浜賀市博物館 | 10 | (図上復原) |
| | 横浜賀市 吉井町 台崎(吉井貝塚) | " | 12 | * 第1貝層下部貝層出土。貝殻条痕。PL4-1・2・3と同層位。 |
| | 横浜市 磯子区 紅取 | 神奈川県立博物館 | | |

| 図版番号 | 出土地名 | 保管者・所有者 | 文献番号 | 備考 |
|------|--------------------------|------------------|-------|----------------------------|
| 4 | 1 横須賀市 古井町 台崎 (古井貝塚) | 横須賀市博物館 | 12 | * PL3—3参照。貝殻条痕。 |
| | 2 " " | " | 12 | * PL3—3参照。貝殻条痕。 |
| | 3 " " | " | 12 | * PL3—3参照。貝殻条痕。 |
| | 4 横須賀市 佐原町 茅山 (茅山貝塚) | 神奈川県立博物館 | 2・5・8 | 貝殻条痕。 |
| 5 | 1 横浜市 港北区 新吉田町 北川 (北川貝塚) | (神奈川県立博物館) | | * 塚穴住居址内貝塚出土。 PL5—2と共伴。 |
| | 2 " " | " | | * PL5—1参照。 |
| | 3 横浜市 鶴見区 上末吉町 梶山 (梶山貝塚) | 神奈川県立博物館 | 22 | 貝層内出土。貝殻正横文。 |
| | 4 横浜市 港北区 南山田町 八幡台 | 神奈川県立博物館 | | |
| | 5 横浜市 港北区 日吉町 矢上谷戸 | 江坂輝弥 (旧蔵) | | |
| | 6 横浜市 鶴見区 生麦町 風早台 | 神奈川県立博物館 | | |
| 6 | 1 相模原市 新磯 勝坂 | 相模原市教育委員会 | | |
| | 2 横浜市 保土ヶ谷区 今井町 美立谷戸 | 神奈川県立博物館 | | 口縁の突起は1個所。 |
| | 3 横浜市 保土ヶ谷区 市沢町 西谷 | 横 壽 史 郎 | | |
| | 4 横浜市 港北区 菊名町 宮谷 | 鎌 倉 学 園 | | 鉦形の貼付文が対象位置に 2個ある。 |
| | 5 横浜市 磯子区 森町 赤穂原 | 明 治 大 学 | | |
| | 6 津久井郡 津久井町 三カ木 | 神奈川県立津久井 高等学校 | | |
| 7 | 1 愛甲郡 愛川町 中細野 | 神奈川県立博物館 | | |
| | 2 横浜市 鶴見区 上末吉町 梶山 | " | 22 | |
| | 3 横浜市 港北区 池辺町 三の丸 | " | | |

| 図版番号 | 出土地名 | 保管者・所有者 | 文献番号 | 備考 |
|------|-------------------------------|--------------|------|--------------------------------------|
| 4 | 川崎市 野川 西耕地 | 国学院大学 | 21 | PL7-5が存在した竪穴から約100m離れた地点で出土。 |
| 5 | " | " | 21 | 竪穴住居址内出土。 他に伴出土器あり。把手は1個。 |
| 8 | 1 横浜市 磯子区 雑色 | 黒川悦郎 | | |
| 2 | " | " | | |
| 3 | 横浜市 鶴見区 上木吉町 屍山 | 神奈川県立博物館 | 26 | 竪穴住居址に埋塞として存在。 口縁の対象位置に環状突起が2個ある。 |
| 4 | 相模原市 橋本 本町 瑞光寺付近 | 多摩考古学研究会 | 11 | |
| 5 | 足柄上郡 大井町 山田 | 神奈川県立博物館 | | |
| 9 | 1 横浜市 金沢区 金沢町 称名寺 (称名寺貝塚) | 武蔵野郷土館 | 9 | |
| 2 | 横浜市 鶴見区 東寺尾町 宮台 | 神奈川県立博物館 | | * 竪穴住居址内出土。 PL9-3と共存。口縁の把手は1個。 |
| 3 | 横浜市 鶴見区 東寺尾町 宮台 | " | | * PL9-2参照。 |
| 4 | 横浜市 金沢区 金沢町 称名寺 (称名寺貝塚) | " | | 波状口縁。 |
| 5 | 横浜市 鶴見区 東寺尾町 荒立 (荒立貝塚) | " | | 口縁の突起のうち2個は2個組。 |
| 10 | 1 横浜市 鶴見区 下木吉町 小仙塚 (小仙塚貝塚) | 神奈川県立博物館 | | |
| 2 | " | " | | |
| 3 | 足柄上郡 大井町 金子台 | 第一生命保険相互会社 | 20 | 組石下土塊出土。 口縁突起3個。 |
| 4 | 足柄上郡 南足柄町 狩野 馬場 | 富士写真フイルム株式会社 | 24 | 組石下土塊出土。 底面に刺代痕がある。 |

| 図版番号 | 出 土 地 名 | 保管者・所有者 | 文献番号 | 備 考 |
|------|-----------------------------|-----------|------|---------------------|
| 5 | 藤沢市 西富 光徳 竹之下 (西富遺跡) | 藤沢市教育委員会 | 16 | 底面に割代痕がある。 |
| 6 | 横浜市 鶴見区 下末吉町 小仙塚 (小仙塚貝塚) | 神奈川県立博物館 | | |
| 7 | " | " | | 底面に割代痕がある。 |
| 8 | 藤沢市 西富 光徳 竹之下(西富遺跡) | 藤沢市教育委員会 | 16 | 底面に割代痕がある。 |
| 9 | 横須賀市 浦郷町 榎戸(榎戸貝塚) | 神奈川県立博物館 | 3 | 底面に割代痕がある。 |
| 10 | 横浜市 神奈川区 三ツ沢東町 (三ツ沢貝塚) | " | | |
| 11 | 1 茅ヶ崎市 堤(堤貝塚) | 鎌倉学園 | | |
| 2 | " | " | | 波状口縁。 |
| 3 | " | 茅ヶ崎市教育委員会 | 15 | 波状口縁。 |
| 4 | 横浜市 保土ヶ谷区 峰沢町 幟子神社 | 神奈川県立博物館 | | 胴部の文様は櫛歯状施文具による条痕文。 |
| 5 | 秦野市 平沢 南町 同明 | " | | |
| 12 | 1 横浜市 港北区 折本町 観音山 | 神奈川県立博物館 | | 波状口縁。 |
| 2 | 横浜市 鶴見区 東寺尾町 富台 | " | | |
| 3 | 横浜市 鶴見区 上末吉町 梶川 | 小林 幸 雄 | | |
| 4 | 横須賀市 吉井町 台崎(吉井貝塚) | 横須賀市博物館 | 13 | * 第1貝塚出土。 |
| 5 | 鎌倉市 雪の下 横浜国立大学敷地内 | 神奈川県立博物館 | | 口縁突起4個。補修孔2個。 |
| 6 | 横浜市内出土 | " | | 口縁小波状連続(?) |
| 7 | 横浜市内出土 | " | | |
| 13 | 1 藤沢市 西富 光徳 竹之下 (西富遺跡) | 藤沢市教育委員会 | 16 | 口縁突起1個。底面に割代痕がある。 |

| 図版番号 | 出 土 地 名 | 保管者・所有者 | 文献番号 | 備 考 |
|------|-----------------------------|----------------|------|-------------------------|
| 2 | 平塚市 上古沢 | 江 坂 輝 弥 | 19 | 底面に網代痕がある。 |
| 3 | 横浜市 鶴見区 下末吉町 小仙塚 (小仙塚貝塚) | 神奈川県立博物館 | | 底面に網代痕がある。 |
| 4 | 藤沢市 西富 光徳 竹之下 (西富遺跡) | 藤沢市教育委員会 | 16 | 底面に網代痕がある。 |
| 5 | 〃 | 〃 | 16 | 口縁突起1個。底面に網代痕がある。 |
| 6 | 〃 | 〃 | 16 | 底面に網代痕がある。 |
| 7 | 足柄上郡 大井町 金子台 | 第一生命保険相互 会社 | 20 | 粗石下土壌内出土。 |
| 8 | 〃 | 〃 | 20 | 粗石下土壌内出土。 底面に網代痕がある。 |
| 9 | 〃 | 〃 | 20 | 粗石下土壌内出土。 底面に網代痕がある。 |
| 10 | 横浜賀市 浦郷町 榎戸 (榎戸貝塚) | 神奈川県立博物館 | 3 | 口縁大型突起1個。 小型突起3個。 |
| 11 | 藤沢市 西富 光徳 竹之下 (西富遺跡) | 藤沢市教育委員会 | 16 | 口縁突起1個。 |
| 12 | 〃 | 〃 | 16 | 口縁突起1個。 底面に網代痕がある。 |
| 13 | 〃 | 〃 | 16 | |
| 14 | 平塚市 上古沢 | 江 坂 輝 弥 | 19 | |
| 14 | 1 横浜市 磯子区 杉田町 杉田 (杉田貝塚) | 明 治 大 学 | 14 | |
| | 2 〃 | 〃 | 14 | |
| | 3 足柄上郡 大井町 金子台 | 吉 田 格 | 7 | |
| | 4 秦野市 平沢 南町 筒明 | 神奈川県立博物館 | | |
| | 5 足柄上郡 大井町 金子台 | 第一生命保険相互 会社 | 20 | |

| 図版番号 | 出 土 地 名 | 保管者・所有者 | 文献番号 | 備 考 |
|------|-----------------------------|----------------|------|----------------------------|
| 6 | 横浜市 鶴見区 下末吉町 小仙塚 (小仙塚貝塚) | 神奈川県立博物館 | | |
| 7 | 秦野市 平沢 南町 同明 | 加 藤 孝 三 | | |
| 15 | 1 横浜市 保土ヶ谷区 市沢町 西谷 | 横 溝 史 郎 | | |
| 2 | 横浜市 保土ヶ谷区 蘇沢町 帽子神社 | 神奈川県立博物館 | | |
| 3 | 横浜市 鶴見区 北寿尾町 別所 | 〃 | | |
| 4 | 横浜市 磯子区 岡村町 三股台 | 〃 | | |
| 5 | 中部 大磯町 塚越 | 大磯町教育委員会 | | 円筒状の脚が4個つく。 |
| 6 | 平塚市 上古沢 | 江 坂 輝 弥 | 19 | 底面に網代痕がある。 |
| 7 | 藤沢市 西富 光徳 竹之下 (西富遺跡) | 藤沢市教育委員会 | 16 | 底面に網代痕がある。 |
| 8 | 平塚市 上古沢 | 江 坂 輝 弥 | 19 | 底面に網代痕がある。 |
| 9 | 足柄上郡 大井町 金了台 | 第一生命保険相互 会社 | 20 | 組石下土塊内出土。 |
| 10 | 横浜質市 吉井町 台崎 (吉井貝塚) | 横浜質市博物館 | 13 | 肩部に環状突起がある(6個?)。 |
| 11 | 横浜市 鶴見区 北寿尾町 別所 | 神奈川県立博物館 | 23 | 肩部に環状突起が4個ある。 蓋の穿孔は2個所。 |
| 12 | 横浜市 磯子区 杉田町 杉田 (杉田貝塚) | 明 治 大 学 | 14 | |
| 13 | 横浜市 鶴見区 下末吉町 小仙塚 (小仙塚貝塚) | 神奈川県立博物館 | | |
| 14 | 横浜市 神奈川区 三ツ沢東町 (三ツ沢貝塚) | 〃 | | |

採録資料関係文献

(年代順)

| 文献 番号 | 著者 | 題名 | 掲載誌名 | 発行年 |
|----------|-----------|---------------------------|--------------------------------------|---------------|
| 1 | 赤星 直忠 | 「横須賀市田戸先史時代遺跡調査」 | 史前学雑誌 7 卷 6 号 史前学会 | 1935 (昭和10) 年 |
| 2 | 赤星 直忠 | 「茅山貝塚及古井貝塚」 | 史蹟名勝天然記念物調査報告書 第 5 輯 神奈川県 | 1937 (昭和12) 年 |
| 3 | 赤星・角井・小笠原 | 「横須賀市榎戸貝塚について」 | 考古学 8 卷 11 号 東京考古学会 | 1937 (昭和12) 年 |
| 4 | 芹沢 長介 | 「神奈川県大丸遺跡の研究」 | 駿台史学第 7 号 駿台史学会 | 1956 (昭和31) 年 |
| 5 | 赤星直忠・岡本勇 | 「茅山貝塚」 | 横須賀市博物館研究報告 (人文 科学) 第 1 号 横須賀市博物館 | 1957 (昭和32) 年 |
| 6 | 杉原荘介・芹沢長介 | 「神奈川県夏島における縄文文化 初頭の貝塚」 | 明治大学文学部研究報告 考古 学第 2 冊 明治大学 | 1957 (昭和32) 年 |
| 7 | 吉田 格 | 「神奈川県中野敷遺跡」 | 編譯第 14 号 立正大学考古学会 | 1958 (昭和33) 年 |
| 8 | 岡本 勇 | 「三浦市大淵山遺跡」 | 横須賀市博物館研究報告 (人文 科学) 第 4 号 横須賀市博物館 | 1960 (昭和35) 年 |
| 9 | 吉田 格 | 「横浜市称名寺貝塚」 | 武蔵野郷土館 | 1960 (昭和35) 年 |
| 10 | 岡本 勇 | 「三浦市鶴ヶ島台遺跡」 | 横須賀市博物館研究報告 (人文 科学) 第 5 号 横須賀市博物館 | 1961 (昭和36) 年 |
| 11 | 長友 博・梶 国男 | 「相模原市橋本瑞光寺遺跡発掘 調査報告」 | 多摩考古第 4 号 多摩考古学研 究会 | 1962 (昭和37) 年 |
| 12 | 岡本 勇 | 「横須賀市古井城山第一貝塚の土器(1)」 | 横須賀市博物館研究報告 (人文 科学) 第 6 号 横須賀市博物館 | 1962 (昭和37) 年 |
| 13 | 岡本 勇 | 「横須賀市古井城山第一貝塚の土器(2)」 | 横須賀市博物館研究報告 (人文 科学) 第 7 号 横須賀市博物館 | 1963 (昭和38) 年 |
| 14 | 杉原荘介・戸沢充則 | 「神奈川県杉田・桂台遺跡の研究」 | 考古学集刊第 2 巻第 1 号 東京 考古学会 | 1963 (昭和38) 年 |
| 15 | 岡本 勇 | 「堤貝塚」 | 文化財資料第 2 集 茅ヶ崎市教 育委員会 | 1963 (昭和38) 年 |
| 16 | 服部清道・寺田兼方 | 「西宮貝塚発掘調査報告」 | 藤沢市文化財調査報告書第 1 集 藤沢市教育委員会 | 1964 (昭和39) 年 |
| 17 | 戸沢 充博 | 「日本原始美術 1」 | 山内清男・甲野 勇・江坂輝弥 編 <図版解説> 講談社 | 1964 (昭和39) 年 |
| 18 | 岡本 勇 | 「日本原始美術 1」 | 山内清男・甲野 勇・江坂輝弥 編 <図版解説> 講談社 | 1964 (昭和39) 年 |
| 19 | 江坂 輝弥 | 「平塚市上古沢敷石遺跡」 | 平塚市文化財調査報告第 5 集 平塚市教育委員会 | 1964 (昭和39) 年 |
| 20 | 神沢 勇一 | 「金子台遺跡の縄文時代墓地」 | 第一生命保険相互会社 | 1966 (昭和41) 年 |

| 文献 番号 | 著 者 | 題 名 | 掲 載 誌 名 | 発 行 年 |
|----------|----------------|--------------------------|-------------------------------------|---------------|
| 21 | 樋口清之・川崎義雄・小田静夫 | 「神奈川県川崎市野川 西耕地道跡発掘報告」 | 上代文化第37輯 国学院大学考 古学会 | 1967 (昭和42) 年 |
| 22 | 神沢 勇一 | 「隼山遺跡(1)」 | 神奈川県立博物館発掘調査報告 書第1号 神奈川県立博物館 | 1968 (昭和43) 年 |
| 23 | 神沢 勇一 | 「縄文式壺形土器」 | 神奈川県立博物館だより Vol.1, No.8 神奈川県立博物館 | 1969 (昭和44) 年 |
| 24 | 杉山博久・神沢勇一 | 「馬場遺跡の縄文時代配石遺跡」 | 富士写真フィルム株式会社 | 1969 (昭和44) 年 |
| 25 | 神沢 勇一 | 「隼山遺跡(2)」 | 神奈川県立博物館発掘調査報告 書第2号 神奈川県立博物館 | 1969 (昭和44) 年 |
| 26 | 神沢 勇一 | 「隼山遺跡(3)」 | 神奈川県立博物館発掘調査報告 書第4号 神奈川県立博物館 | 1970 (昭和45) 年 |

関 連 文 献

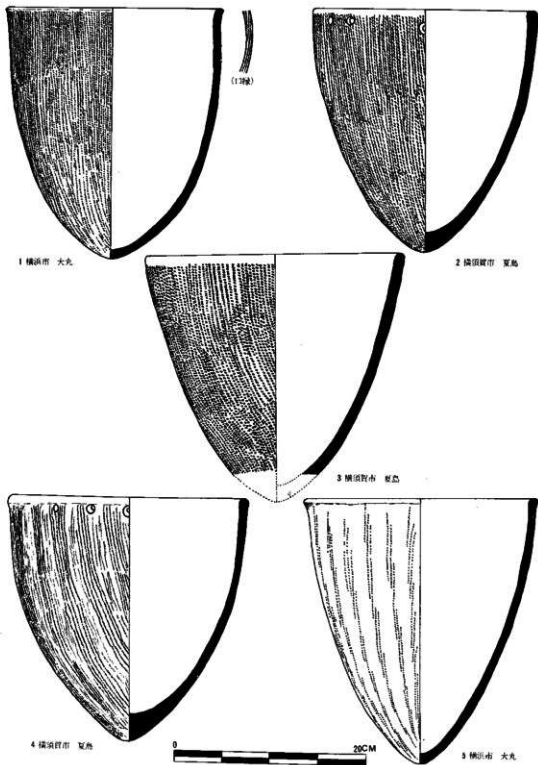
(年 代 順)

| 文献 番号 | 著 者 | 題 名 | 掲 載 誌 名 | 発 行 年 |
|----------|-------|------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 1 | 八木英三郎 | 「相州諸磯石器時代遺跡の土器」 | 東京人類学会雑誌13—39 東京 人類学会 | 1900 (明治33) 年 |
| 2 | 大山 柏 | 「神奈川県下新磯村字勝坂遺跡包含地調査 報告」 | 史前学研究会小報 史前学会 | 1927 (昭和2) 年 |
| 3 | 赤星 直忠 | 「古式土器の一形式としての三戸式土器に 就いて」 | 考古学7巻9号 東京考古学会 | 1936 (昭和11) 年 |
| 4 | 山内 清男 | 「日本先史土器図譜2 茅山式・子母口式土 器」 | | 1941 (昭和16) 年 |
| 5 | 赤星 直忠 | 「神奈川県野島貝塚」 | 考古学集刊 第1巻第1冊 東京 考古学会 | 1948 (昭和23) 年 |
| 6 | 江坂 輝弥 | 「相模五領ヶ台貝塚調査報告」 | 考古学集刊 第1巻第3冊 東京 考古学会 | 1949 (昭和24) 年 |
| 7 | 岡本 勇 | 「相模平坂貝塚」 | 駿台史学第3号 駿台史学会 | 1953 (昭和28) 年 |
| 8 | 岡本 勇 | 「三浦市大浦山遺跡」 | 横須賀市博物館研究報告 (人文 科学) 第4号 横須賀市博物館 | 1960 (昭和35) 年 |
| 9 | 坂詰 秀一 | 「神奈川県川崎市野川十三善掘出土の土器 について」 | 史想 | 1961 (昭和36) 年 |

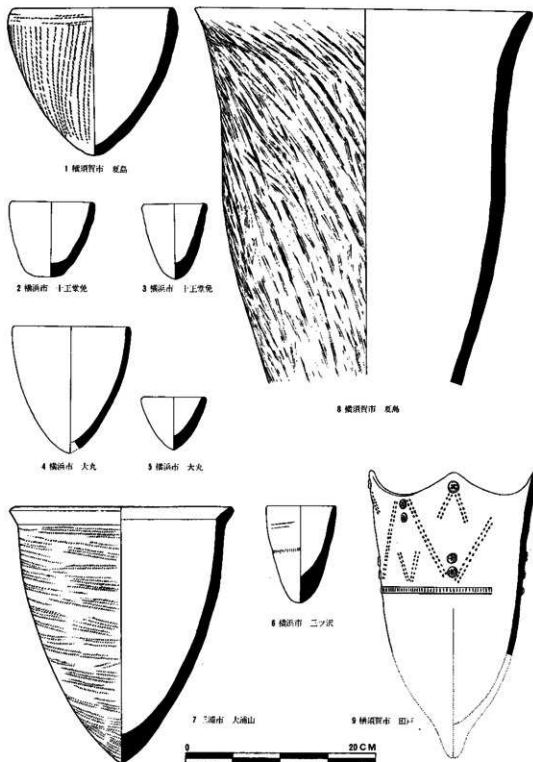
昭和45年3月20日印刷
昭和45年3月25日発行

編集兼発行者
神奈川県立博物館

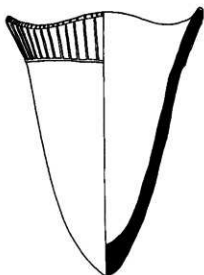
齋藤 太次郎
横浜市中央区南仲通5の60
印刷所 (株)平井印刷所



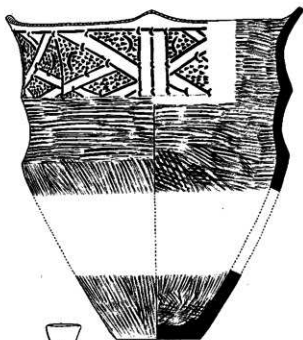
1-5 Daimaru (Yokohama city) 2~4 Natsushima (Yokosuka city)



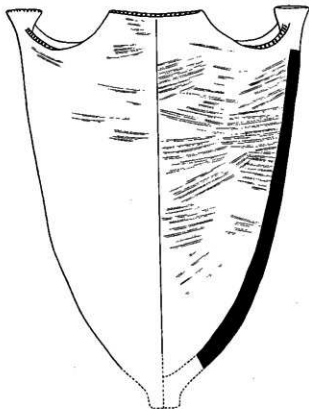
1-8 Natsushima, 9 Tado (Yokosuka city) 2-3 Jūōdōmen, 4-5 Daimaru, 6 Mitsuzawa (Yokohama city) 7 Ōrayama (Miura city)



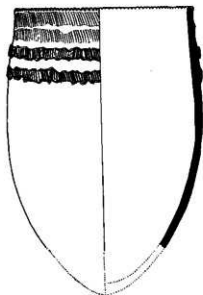
1 横濱市 野島



2 三浦市 船形馬台



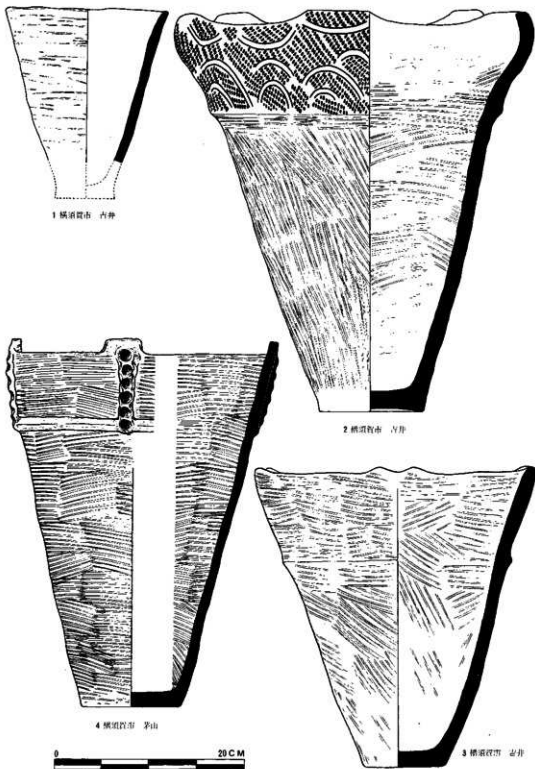
3 横浜敷市 吉井



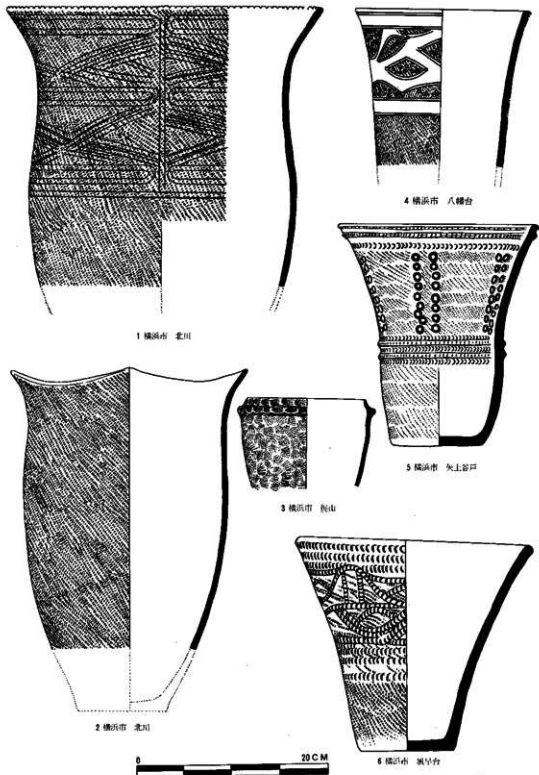
4 横浜市 釘取



1 Nojima, 4 Benitori (Yokohama city) 2 Ugashimadai (Miura city) 3 Yoshii (Yokosuka city)



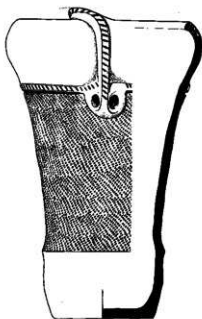
1—3 Yoshi, 4 Kayama (Yokozuka city)



1-2 Kitagawa, 3 Kajiyama, 4 Hachimandai, 5 Yagamiyato, 6 Kazahayadai (Yokohama city)



1 相模原市 西谷



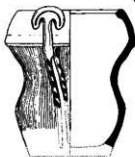
2 横浜市 元立町



5 横浜市 赤穂町



3 横浜市 西谷



4 横浜市 西谷

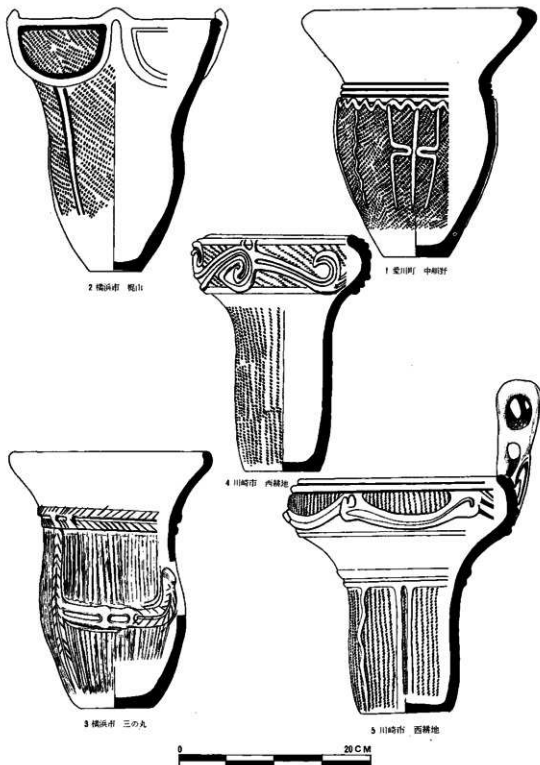


6 津久井町 三合本

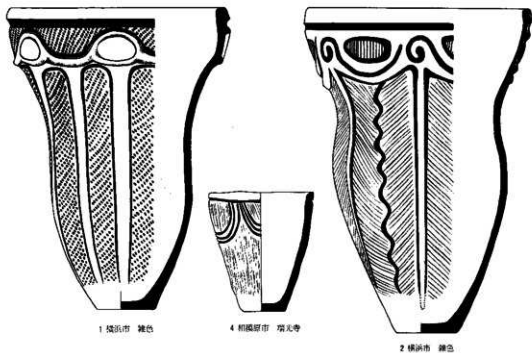


1 Katsusaka (Sagamihara city) 2 Mitachiyato, 3 Nishiya, 4 Miyatani, 5 Akahobara
(Yokohama city) 6 Mikage (Tsukui town)

神奈川県立博物館
KANAGAWA PREFECTURAL MUSEUM
(1970)



1 Nakabosono (Aikawa town) 2 Kajiyama, 3 Sannomaru (Yokohama city) 4・5 Nishikōchi (Kawasaki city)



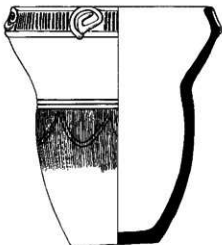
1 横浜市 雑色

4 相模原市 瑞光寺

2 横浜市 雑色



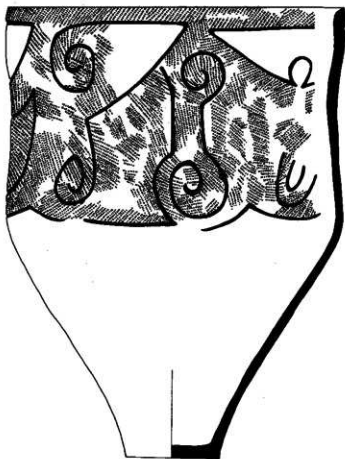
3 横浜市 梶山



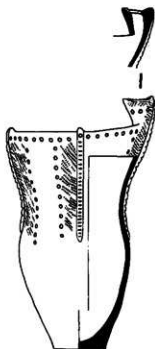
5 大井町 山田



1・2 Zōshiki, 3 Kajiyama (Yokohama city) 4 Zuikōji (Sagamihara city) 5 Yamada (Ōi town)



1 横浜市 称名寺



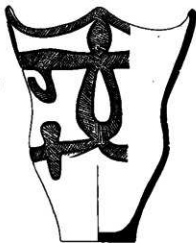
2 横浜市 宮台



3 横浜市 宮台



5 横浜市 荒立



4 横浜市 称名寺



1・4 Shōmyōji, 2・3 Miyadai, 5 Aratachi (Yokohama city)



1 横浜市 小仙塚



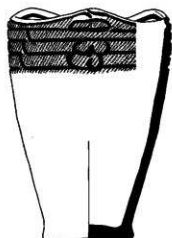
2 横浜市 小仙塚



3 大井町 金子台



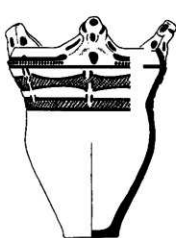
4 南足柄町 馬場



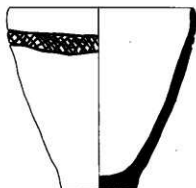
5 藤沢市 西宮



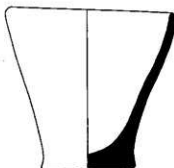
6 横浜市 小仙塚



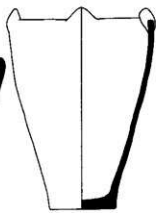
7 横浜市 小仙塚



8 藤沢市 西宮



9 横浜買物 祝戸

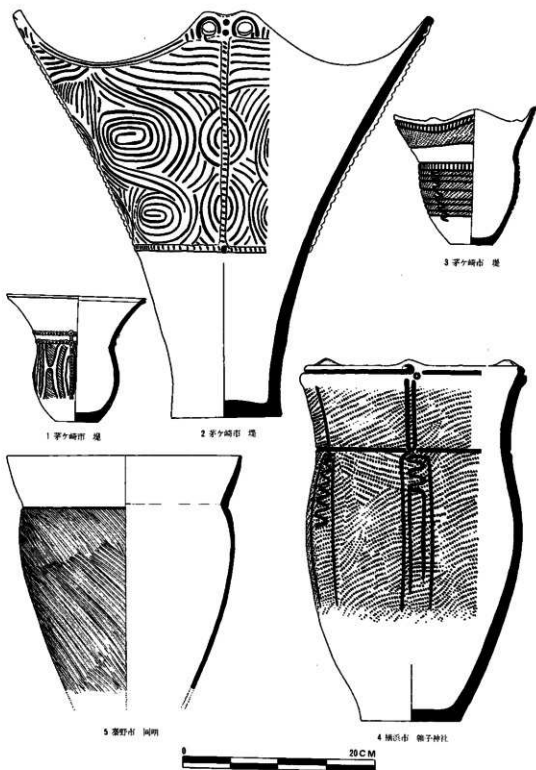


10 横浜市 三ツ沢

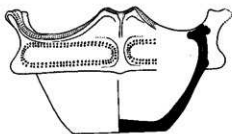


1・2・6・7 Shōsenzuka, 10 Mitsuzawa (Yokohama city) 3 Kanekodai (Ōi town)
4 Bappa (Minamishigara town) 5・8 Nishitomi (Fujisawa city) 9 Enokido (Yokosuka city)

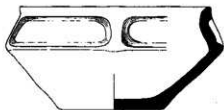
神奈川県立博物館
KANAGAWA PREFECTURAL MUSEUM
(1970)



1-3 Tautsumi (Chigasaki city) 4 Katabirajinja (Yokohama city) 5 Dōmyō (Hadano city)



1 横須市 観音山



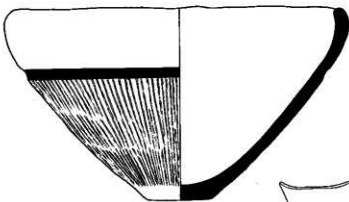
2 横須市 宮台



3 横須市 祝山



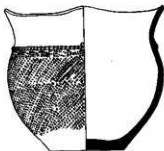
5 鎌倉市 雪の下



4 横須賀市 吉井



6 横須市



7 横須市



1 Kannonyama, 2 Miyadai, 3 Kajiyama, 6・7 (Yokohama city) 4 Yoshii (Yokosuka city)
5 Yukinoshita (Kamakura city)

神奈川県立博物館
KANAGAWA PREFECTURAL MUSEUM
(1970)



1 藤沢市 西高



2 平塚市 上高沢



3 横浜市 小仙崎



5 藤沢市 西高



6 藤沢市 西高



4 藤沢市 西高



8 大井町 金子台



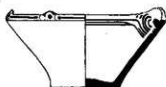
7 大井町 金子台



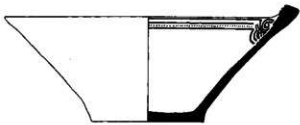
9 大井町 金子台



11 藤沢市 西高



10 横須賀市 榎戸



12 藤沢市 西高



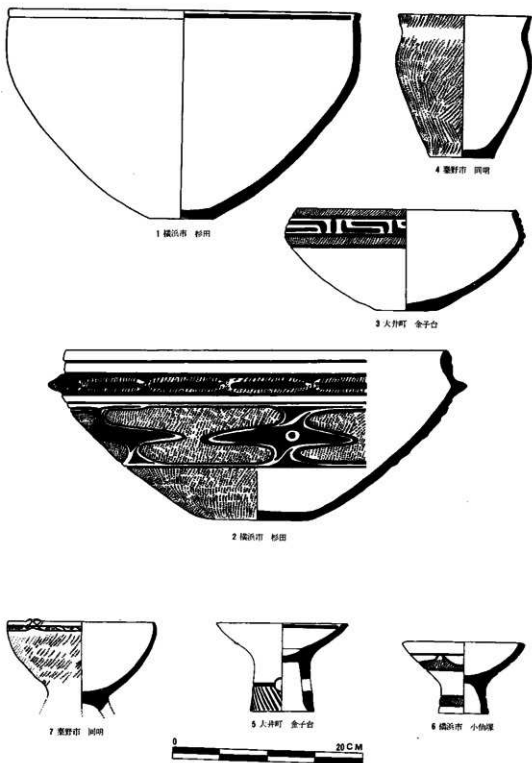
14 平塚市 上西沢



13 藤沢市 西高



1-4-6-11-13 Nishitomi (Fujisawa city) 2-14 Kamikichisawa (Hiratsuka city)
3 Shōsenzuka (Yokohama city) 7-9 Kanekodai (Ōi town) 10 Enokido (Yokosuka city)



1・2 Sugita 6 Shōsenzuka (Yokohama city) 3・5 Kanekodai (Ōh town) 4・7 Dōmyō (Iladano city)



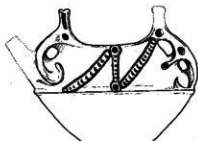
1 横浜市 西谷



2 横浜市 鞋子神社



3 横浜市 別所



4 横浜市 三瓶台



5 大磯町 塚越



6 平塚市 上古沢



7 藤沢市 西家



8 宇塚市 上古沢



9 大磯町 金子台



12 横浜市 杉田



10 横浜市 吉井



11 横浜市 別所



14 横浜市 三ツ武



13 横浜市 小仙塚



1 Nishiya, 2 Katabirajinjya, 3-11 Bessho, 4 Santonodai, 12 Sugita, 13 Shōsenzuka,
14 Mitsuzawa (Yokohama city) 5 Tsukagoshi (Ōiso town) 6-8 Kamikichisawa (Hiratsuka
city) 7 Nishitomi (Fujiwara city) 9 Kanekodai (Ōi town) 10 Yoshii (Yokosuka city)

神奈川県立博物館
KANAGAWA PREFECTURAL MUSEUM
(1970)